

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光振興課	職	次長兼課長	氏名	良澤 和俊
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	山下 活博
	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	竹内 政則

施策	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進	観光入り込み客数	千人	25,000 (H27)	21,611 (H26)	25,018 (H27)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み					評価	
施策	課題	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性	
					(年度)	(年度)							
施策1	課題1 新ほっと石川観光プランの推進 (3大都市圏誘客1000万人構想の推進)	3大都市圏からの入り込み客数	千人	10,000 (H27)	6,903 (H26)	9,259 (H27)	1 国内誘客戦略強化費	観光客全般	1,000	1,000	B	継続	
	課題2 観光地や温泉地の魅力アップと活性化	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	41,043 (H26)	集計中 (H27)	1 観光地活性化推進事業費	市町等	24,120	24,120	B	継続	
							2 いしかわスイーツ博開催事業費	観光客全般	8,700	8,700	B	継続	
							3 金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	17,600	17,600	B	継続	
							4 いしかわ仕事旅開発事業	若年者	4,000	4,000	B	継続	
	課題3 イベント、コンベンションの振興	コンベンション開催・参加者数	件・人	400・96,800 (H27)	326・62,900 (H26)	396・149,606 (H27)	1 戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	コンベンション主催者	5,000	5,000	B	継続	
課題4 おもてなしの充実	観光地入り込み客数	千人	54,886 (H27)	41,043 (H26)	集計中 (H27)	再掲 観光地活性化推進事業費	市町等	24,120	24,120	B	継続		
課題5 人材の育成	ボランティアガイド団体・参加者数	団体・人	30・800 (H27)	24・1,015 (H26)	24・1,062 (H27)	1 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	3,500	3,500	B	継続		
課題6 効果的な情報発信	3大都市圏からの入り込み客数	千人	10,000 (H27)	6,903 (H26)	9,259 (H27)	1 関西・中京圏誘客促進事業	観光客全般	8,000	7,646	B	継続		
						2 白山白川郷ホワイトロード利活用促進事業	観光客全般	19,492	18,567	B	縮小		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	国内誘客戦略強化費	事業開始年度	H25	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作 組 織	誘客戦略課				
成 職・氏名	主任主事 濱口 紀一郎				
者 電話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944				

1 目 的
 新ほっと石川観光プランに掲げる、「首都圏誘客500万人構想」、「3大都市圏1000万人構想」の実現を図るため、旅行商品造成や、MICEや修学旅行の誘致など、それぞれの分野により戦略的な事業展開を強化していく必要がある。このため、それぞれの分野において人脈や経験が豊富で情報に精通している方をアドバイザーに委嘱し、具体的な助言をいただきながら戦略的な国内誘客を展開していく。

※MICE: Meeting(会議・研修)、Incentive(報奨旅行)、Conference(国際会議・学会議)、Exhibition(展示会)の4つの頭文字を合わせた言葉

2 事業内容
 国内誘客について、それぞれの分野に精通した方々を「国内誘客戦略アドバイザー」として委嘱

(1)委嘱数 8名程度
 (2)分 野 MICE・修学旅行の誘致

<MICE>
 アドバイザー例:MICE事業に精通した旅行会社 など
 活 用 例:MICEの誘致のための制度設計について、主催者や参加者の要望等を聞き取り
 →具体的な制度設計や企画提案に反映

<修学旅行>
 アドバイザー例:修学旅行の業界団体 など
 活 用 例:学校誘致に効果的な情報を聞き取り
 →具体的な企画提案やセールス活動に反映
 現地視察・勉強会への参加
 →学習プログラムの改善・充実

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
	指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	10,000	6,969	6,832	7,017	6,903	9,259	
事業費							
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算			2,000	1,600	1,000	
	決算			2,000	1,600	1,000	
一般	予算			2,000	1,600	1,000	
	決算			2,000	1,600	1,000	
財源				2,000	1,600	1,000	
事業費累計				2,000	1,600		
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	コンベンションや修学旅行の誘致に精通しているアドバイザーの助言により、効果的な情報収集が可能となったことで、戦略的なセールス活動が実施でき、コンベンションや修学旅行誘致に貢献した。 平成27年度実績 コンベンション開催件数(参加者30人以上) 396件 修学旅行誘致校数(三大都市圏) 50校					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業後の継続的な誘客に向け、引き続きアドバイザーからの助言を活かしながら、コンベンションや修学旅行の誘致活動を展開していく。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ観光応援団活動推進事業	事業開始年度	H22	事業終了予定年度		作 組 織	観光企画課	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン			成 職・氏名	専門員 定司 太一	
							電 話 番 号	076 - 225 - 1127 内線 3919

◎事業の背景・目的
 全国に向け石川の魅力や観光情報を発信するため、ロコミによりPRいただける方を「いしかわ観光特使」として委嘱しているところであるが、加えて首都圏においては、北陸新幹線金沢開業を受け、本県の魅力発信や誘客活動を一層推進していくため、石川県人会をはじめとする本県ゆかりの首都圏在住者と協働して取り組むことが大変重要である。本事業では、特使の情報発信や誘客活動をサポートするとともに、特使や県人会をはじめとする県ゆかりの首都圏在住者の方々と一体となって、情報発信の強化を図る。

◎事業の概要

1 県人会等協働PR推進事業
 いしかわ百万石の集いの充実を図り、県政の理解を深めていただくとともに、観光やビジネス面を含む幅広い分野で、首都圏在住の方々と本県との連携を強め、首都圏における情報発信力を強化する。

(1) いしかわ百万石の集いの開催
 首都圏の県人会等と協力し、家族・知人も参加できるオープンな交流イベントを開催
 ・イベント構成：第1部 県政報告、第2部 交流イベント
 ・イベント内容：県人会等と協力した飲食・物販・PRブース出展、ステージイベント 他

(2) その他
 日本橋・京橋まつりへの参加(ファンド事業)

2 いしかわ観光特使ネットワーク推進事業
 特使の資質を維持向上するため、特使の活動サポートを継続する。

(1) 研修・交流会の開催
 ・交流・情報交換の場を提供し特使活動の活性化を促す
 ・開催場所:研修・交流会(関西、中京、県内)

(2) 活動サポートグッズの作成
 ・新特使名刺 …… 全員に配布(200枚/人)

(3) 観光情報の提供
 ・「いしかわ観光特使事務局通信」のメール配信 …… 定期的送付(月2回程度)
 ・パンフレット送付 …… 定期的送付(年4回)
 ・ホームページ ……特使の活動報告、協力施設のイベント情報など特使のための情報発信

(4) 事務局の設置
 特使からの問い合わせや資料請求等にきめ細かく対応するため、専任の事務局を設置する
 ・特使からの問い合わせ、資料請求等への対応
 ・活動報告等の整理、ホームページへの掲載
 ・特使への各種案内、資料等の発送作業

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客3倍増構想の推進					評価	B
課題	新ほっと石川観光プランの推進						
	指標	隣県からの入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	3,150	2,607	2,576	2,808	2,869	2,970	
事業費							
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算	5,500	5,500	9,100	9,100	8,700	
	決算	5,500	5,500	9,100	9,100	8,700	
一般財源	予算	5,500	5,500	9,100	9,100	8,700	
	決算	5,500	5,500	9,100	9,100	8,700	
事業費累計		18,500	24,000	33,100	42,200	50,900	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	観光特使には、それぞれの生活やお仕事など日常の活動の場で、本県の観光についてのPR活動を行って頂いており、H22～H27年度で約23,000名の誘客に繋がっている。また、「百万石の集い」に特使も参画するなど県人会との連携を行い、特使と県人会とのネットワークが形成されるなど着実に成果が上がっている。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	観光特使の意欲と知識の向上のため、観光情報を月2回のメルマガや観光パンフレット等の定期発送により提供するなど、観光特使の活動をサポートするとともに、今後は、県とぐるなびとの特設インターネットサイト内に特使からのロコミ投稿機能を新設するなどにより、特使の活動の場を提供することにより更なる誘客への情報発信を推進する。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	観光地活性化推進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	観光企画課			
成職	氏名	主事 中嶋 高大			
者電	話番	076 - 225 - 1539 内線 3922			

(事業の背景・目的)
 温泉地に代表される主要観光地等の活性化を図るため、県の「新ほっと石川観光プラン」を踏まえ、観光協会、広域観光協会等が実施するソフト事業及びハード事業に対し、支援を行う。

(事業の概要)
観光地活性化推進事業 24,120千円
1 観光地ブランド化推進事業(ソフト事業) 22,120千円
 (1) 対象事業
 ○観光地の活性化を図るため、市町が策定した観光振興計画に基づき新たな観光資源の掘り起こしや地域の個性を活かした観光地づくりなどのブランド化を図るソフト事業に対する支援
 事業例：観光資源のブランド化、個性あるイベントの実施など
 ○外国人観光客の受入整備に係るソフト事業に対する支援
 事業例：外国人観光客に対応したパンフレットの作成、人材育成など
 (2) 交付先：市町
 (3) 経費負担：県1/3(上限4,000千円/温泉地等)、市町1/3、実施主体(観光協会等)1/3
2 観光地広域連携推進事業(ソフト事業) 2,000千円
 (1) 対象事業
 ○広域的に観光地の魅力を高めるための受入整備や集客力・利便性の向上を図るソフト事業に対する支援
 (2) 交付先：広域観光協会
 (3) 経費負担：県 1/3(上限5,000千円/協会)、実施主体(広域観光協会) 2/3
3 観光地活性化整備事業 (ハード事業)
 (1) 対象事業
 ○各市町が策定した計画に基づき、観光客の利便性向上や観光地の魅力をアップするためのハード事業に対する支援
 事業例：案内看板の整備、駐車場の整備など
 (2) 交付先：市町 (総湯等温泉施設の事業主体が総湯管理団体の場合は、総湯管理団体)
 (3) 補助率及び補助限度額
 ①補助率：事業費×(1-地元負担1/10)×1/4以内
 ②補助限度額：10,000千円(事業費10,000千円以下の事業は、補助対象外とする。)

(これまでの見直し状況)
 H17：「個性豊かな温泉地まちづくり推進事業費補助金」、「温泉地街並み等修景整備促進事業費補助金」、「快適観光空間整備促進事業費補助金」を廃止。「観光地等再生計画策定支援事業費補助金」を統合
 「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」創設
 H19：「観光地魅力創出整備事業」、「観光地魅力創出推進事業」、「ユニバーサルデザイン推進事業」廃止
 H24：事務費削減(1,800千円)
 H27：観光地ブランド化推進事業費削減(200千円)

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客3倍増構想の推進				評価	B	
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化						
	指標	観光地の入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	54,886	40,003	39,415	39,564	41,043	集計中	
事業費							
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算	26,120	24,320	24,320	24,320	24,120	
	決算	26,120	24,320	24,320	24,320	24,120	
一般	予算	26,120	24,320	24,320	24,320	24,120	
財源	決算	26,120	24,320	24,320	24,320	24,120	
事業費累計		77,170	103,290	127,610	151,930	176,050	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	新規イベント開催など温泉地の新たな魅力付けに寄与したほか、和倉むすびなど新しい観光素材の開発に対して支援し、本事業を通して観光地の魅力向上につながった。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業効果を持続・発展させるため、新たな観光素材の発掘や磨き上げを行うことが重要である。地域の特性を活かした魅力ある観光地づくりのため、引き続き関係団体と一体となり取り組んでいく。					

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名 いしかわスイーツ博開催事業費	事業開始年度 H24	事業終了予定年度 H27	作 組 織 観光企画課
	根拠法令・計画等 STEP21	成 職 ・ 氏 名 専門員 伊藤 江梨	
			者 電 話 番 号 076 - 225 - 1542 内線 3925

【事業の目的】

北陸新幹線の金沢開業に伴い、本県の魅力である食をテーマにしたイベントを継続的に実施することで、交流拡大の機運を盛り上げる必要があることから、特に女性に人気の高いスイーツをテーマにしたイベントを開催し、菓子（スイーツ）どころ石川をアピールすることで、県内菓子業界の発展を目指すとともに、本県への観光客増大を図る。

【事業の概要】

1. 主催 石川県、(公社)石川県観光連盟
2. 協力 石川県菓子工業組合、(一社)石川県洋菓子協会
3. 内容 百万石の菓子文化 いしかわスイーツ博2015の開催
 - (1) 第4回いしかわスイーツコンテスト
 - ①応募資格 全国の製菓学校に所属する学生(3名1チーム)
 - ②スケジュール 3月 募集開始
8月 第1次審査(書類審査)
10月 決勝実技審査
(会場: スーパースイーツ製菓専門学校)
 - ③結果 知事大賞: にいがた製菓・調理師専門学校えぷろん(新潟県)
準大賞: 広島酔心調理製菓専門学校(広島県)
部門賞: スーパースイーツ製菓専門学校(石川県)
北日本ハイテクカルクッキングカレッジ(岩手県)
華調理製菓専門学校(東京都)
 - (2) いしかわフェア2015の開催
 - ①開催日時 平成27年10月17日(土)・18日 両日10:00~17:00
 - ②メイン会場 石川県政記念しいのき迎賓館(金沢市)
 - ③内容
 - ・県内和洋菓子店による菓子販売ブースの展開
 - ・菓子作り体験、茶会の実施
 - ・和洋菓子による作品展示(工芸菓子の展示など)
 - ・連続テレビ小説「まれ」出演者によるトークショー
 - ・いしかわスイーツコンテスト結果発表及び表彰式
4. 事業費 34,500千円(県25,000千円、市町等9,500千円)
5. 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	現状値			単位	千人
	観光地の入り込み客数					
	目標値					
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	54,886	40,003	39,415	39,564	41,043	集計中

事業費						
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算		15,000	15,000	15,000	25,000
	決算		15,000	15,000	15,000	25,000
一般	予算		15,000	15,000	15,000	0
	決算		15,000	15,000	15,000	0
事業費累計			15,000	30,000	45,000	70,000

評価									
項目	評価								
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	左記の評価の理由 H27年度で5回開催し、秋の大規模イベントとして定着し、入込数もこれまで最高となったことから一定の効果が見られる。 <入込数> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">H24</td> <td style="width: 25%;">H25</td> <td style="width: 25%;">H26</td> <td style="width: 25%;">H27</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19.5千人</td> <td style="text-align: center;">21.0千人</td> <td style="text-align: center;">22.0千人</td> <td style="text-align: center;">42.0千人</td> </tr> </table> ※H27は井サミットとの合算	H24	H25	H26	H27	19.5千人	21.0千人	22.0千人	42.0千人
	H24	H25	H26	H27					
19.5千人	21.0千人	22.0千人	42.0千人						
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間等のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続 「秋の金沢で開催される大規模イベント」として定着し、「るるぶ」や「旅の手帖」といった旅行雑誌や首都圏で発行されるhotpepperなどのフリーペーパーでも紹介され、さらに、回を重ねるごとに集客数も増えていることから、県外からの誘客促進に繋がっていると考えられることから継続とする。								

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作	組	観光企画課	成	職	専門員 伊藤江梨	者	電	話	076 - 225 - 1542 内線 3925
----------	----------	-------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	--------------------------

○事業の目的

北陸新幹線の金沢開業により日帰り客が増加すると考えられる中で、宿泊客を増やすため夜の魅力アップを図る目的で、金沢城公園や兼六園などを舞台に新しい観光の魅力を演出するイベント等を四季を通じて開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、本県のイメージアップと観光誘客の促進を図る。

○事業の概要

- ・金沢城・兼六園ライトアップ

雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたライトアップイベントを実施

タイトル	開催日	開催時刻	来場者数
春の段 (9日間)	平成27年4月28日(火)～5月2日(土), 5日(火)～6日(水)	18:30～21:00	47,764 人
	プロジェクトマップ開催：平成27年5月3日(日)～4日(月)	18:30～22:30	
初夏の段 (3日間)	平成27年6月5日(金)～7日(日)	19:00～21:00	7,938 人
秋の段 (18日間)	平成27年9月18日(金)～22日(火)	18:30～21:00	18,351 人
	平成27年10月2日(金)～4日(日)	18:30～21:00	7,404 人
	平成27年11月20日(金)～29日(日)	17:30～21:00	61,117 人
冬の段 (13日間)	平成28年1月29日(金)～31日(日)	17:30～21:00	44,686 人
	平成28年2月5日(金)～14日(日)	17:30～21:00	
早春の段 (10日間)	平成28年3月11日(金)～20日(日)	18:30～21:00	23,519 人
計(述べ53日間、観桜期除く)			210,779 人

- ※1 金沢城プロジェクトマップの入場者数も含まれる
- ※2 百万石まつり入場祝祭などの入場者数も含まれるため、金沢城公園入場者数は含まない。

○負担金交付先・事業規模

- ・交付先：石川の四季観光キャンペーン実行委員会（会長：石川県観光戦略推進部長）
- ・事業規模：25,390千円（県負担 17,600千円、金沢市負担 7,650千円、繰越金140千円）

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化					
	指標	観光地の入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	54,886	40,003	39,415	39,564	41,043	集計中

事業費					
(単位：千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算	10,427	9,082	8,729	12,763
	決算	10,427	9,082	10,662	12,763
一般財源	予算	10,427	9,082	8,719	12,763
	決算	10,427	9,082	10,662	12,763
事業費累計	83,707	92,789	103,451	116,214	133,814

評価		左記の評価の理由		
項目	評価			
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業や玉泉院丸庭園のオープンもあり、本県に訪れる観光客が増加することが見込まれることから、H26年度より開催日数を19日間増やし53日間(観桜期を除く)開催した。		
		H25	H26	H27
	来場者数	93,760人	201,801人	210,779人

今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	金沢城公園・玉泉院丸庭園・兼六園と三位一体で見せることにより、夜の観光資源として定着してきている。今後は、旅行会社からのニーズを見極め、効果的な開催を行っていく必要がある。
---	-----------	--

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわ仕事旅開発事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作成者	組織	観光企画課			
	氏名	主任主事 釣谷 俊介			
	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3922			

事業の背景・目的
 北陸新幹線金沢開業後も中・長期的に観光入り込み客数を維持・拡大していくため、近年の観光客ニーズに対応した素材として本県ならではの体験観光プログラム「いしかわ仕事旅」を開発し、更なる観光誘客に繋げるとともに、そのノウハウを蓄積して観光素材開発の能力向上を図る。

事業の概要

体験観光プログラム「いしかわ仕事旅」の開発
 内容:①近年の観光客ニーズを満たす新しい体験観光プログラム「いしかわ仕事旅」を開発
 ○本事業により開発し、商品化を検討中のプログラム(7プログラム)
 ・能登の里海を守る漁師になる旅(七尾市能登島)
 ・里山の恵みに感謝する稲刈りと祭りプラン(七尾市中島町)
 ・和菓子職人になる旅(金沢市)
 ・加賀友禅職人になる旅(金沢市)
 ・加賀れんこん掘って味わいつくす旅(金沢市)
 ・山村の重伝建と暮らしの知恵を学ぶ旅(白山市白峰地区)
 ・石切場の石彫体験(小松市滝ヶ原町)

②モニタリングの実施により利用者の「生の声」を活用し、商品化に向けた課題の抽出・整理を行った。

事業費 4,000千円

施策・課題の状況										
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B				
課題	観光地や温泉地の魅力アップと活性化									
指標	観光地の入り込み客数				単位	千人				
	目標値			現状値						
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
	54,886	40,003	39,415	39,564	41,043	集計中				
事業費										
(単位:千円)	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
事業費	予算									4,000
	決算									4,000
一般財源	予算									4,000
	決算									4,000
事業費累計										4,000
評価										
項目	評価	左記の評価の理由								
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業後も中・長期的に観光入り込み客数を維持・拡大していくためには、近年の観光客ニーズに対応した新たな魅力の掘り起こしと磨き上げが重要であり、本事業によって新たな旅行商品化の可能性のある素材の発掘に繋がり、一部のツアーがWEB上で試売されるなど、一定の成果があった。								
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	H27年事業の成果を活用し新たな旅行商品化を目指し、掘り起こしたプログラムをベースに、以下に取り組む。 ・商品化の可能性のあるプログラムの更なるブラッシュアップ ・追加的なプログラムの開発 ・エージェント向け素材集・一般向けリーフレットの作成								

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 戦略的コンベンション誘致推進事業費補助金	事業開始年度 S63	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン

作	組 織 誘客戦略課
成	職・氏名 主事 藤原 慈
者	電話番号 076 - 225 - 1537 内線 3943

事業の背景・目的
 学会等の誘致を促進するために、(公財)金沢コンベンションビューローが実施する各種PR活動を支援し、地域経済の活性化を図る。

事業の概要

- 1 コンベンション都市推進事業
 - ・国際コンベンションの情報収集、キーパーソン招聘など、日本政府観光局マーケティング事業を活用して実施する。
- 2 コンベンション都市広報事業費
 - ・東京で開催される国際ミーティング・エキスポに参加するほか、より多くの開催決定者との商談を行う。
- 3 コンベンション活性化推進事業
 - (1) 着地型情報提供事業
 - ・コンベンション参加者にとって利便性が高く、持ち運びやすいサイズのガイド冊子として「コンベンションナビ」を作成し、街中の回遊性向上や消費拡大につなげる着地情報として配布・提供する。
 - (2) インターネット等情報端末発信事業
 - ・コンベンション主催者及び参加者、コンベンション開催の実務を担うPCO等に対し、石川・金沢の
 - (3) 接遇スキルアップセミナー開催事業
 - ・当地でのコンベンション開催時に顧客満足をこれまで以上に高めるため、サプライヤーである賛助会員向けに多種多様な要望におもてなしの心で即応出来る人材を育成するセミナーを開催する。
 - (4) 加賀・能登ランチ活性化事業
 - ・加賀及び能登に各ランチを設置し、県下全域にコンベンション事業を浸透、普及させ、速やかに誘致・支援・受入を図るための活動をする。
- 4 MICE推進事業
 - MICE誘致・展開事業
 - ・国際学会等の誘致を積極的に進めるため、韓国及び台湾をターゲットに商談会や展示会等の参加、ファミトリップ・インセンティブ招請受入事業を実施し、石川・金沢の魅力を積極的にアピールしていく。

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	イベント、コンベンションの振興					
	指標	コンベンション開催件数・参加者数			単位	件・人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	400	362	393	401	326	396
	96,800	73,999	93,112	88,834	62,900	149,606

事業費						
(単位:千円)						
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算 4,952	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	決算 4,952	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
一般	予算 4,952	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
	決算 4,952	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
財源	決算 4,952	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
事業費累計	105,914	110,914	115,914	120,914	125,914	

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業効果やこれまでの誘致活動の成果が現れ、コンベンション開催件数は目標をほぼ達成し、また、コンベンション参加者数についても目標の約1.5倍を達成することができた。
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	北陸新幹線金沢開業によるアクセスの向上や魅力あふれる観光資源を活用したアフターコンベンション等、コンベンション開催地としての魅力を学会や会議等のキーパーソン、企業に対してPRし、年度間及び季節毎にバランスのとれたコンベンション誘致活動に引き続き取り組んでいく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ウェルカムいしかわ推進事業費	事業開始年度	H23	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	STEP21		

作	組	織	観光企画課		
成	職・氏名	専門員 田中 華依子			
者	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3923			

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加する観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、「お客様の声」をリサーチし、共有するとともに、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識の浸透を図るため、「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進する。

<事業の概要>

1. **観光客満足度向上事業の実施**
 新幹線開業直後の実態や問題点を検証するため、「お客様の声」をリサーチする。
 併せて、同じクレームが発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有化するため、対応マニュアルを作成する。
 (1) アンケートハガキの作成
 配布先: 県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港 等
 (2) 事例集の作成
 配布先: 県観光連盟会員、その他観光関係施設

事業総額: 6,000千円
 補助割合: 1/2(県 3,000千円、市町等 3,000千円)
 交付先: (公社)石川県観光連盟

2. **「観光おもてなし塾」の開催**
 観光事業者等、第一線で活躍する方々のスキルアップを図る。
 対象: 宿泊施設、観光施設、交通機関、ボランティアガイド等に従事する方々
 内容: おもてなしに関する講義、ケーススタディ等
 回数: 年2回

3. **「おもてなし講座」の開催**
 おもてなしについて考えるきっかけづくりを提供する。
 対象: 企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、セミナー、研修会等の参加者
 講師: ほっと石川観光マイスター等
 回数: 年50回

2、3 事業総額: 500千円
 交付先: (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進					評価	B
課題	人材の育成						
	指標	ボランティアガイド団体・参加者数			単位	団体・人	
	目標値	現状値					
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	30団体:800人	25団体:836人	27団体:882人	23団体:991人	24団体:1,015人	24団体:1,062人	
事業費							
	(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算	4,100	8,300	6,300	5,500	3,500	
	決算	4,100	8,300	4,300	5,500	3,500	
一般	予算	4,100	8,300	6,300	5,500	500	
財源	決算	4,100	8,300	4,300	5,500	500	
事業費累計		4,100	12,400	18,700	24,200	27,700	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	これまで「おもてなし塾」は延べ165人、「おもてなし講座」は延べ10,175人が受講しており、お客様のから寄せられたご意見では、「満足」、「やや満足」が8割とおおむね高い評価をいただいていることから、本県のおもてなしの向上に寄与している。 また、お客様のアンケートに、駅構内のコインロッカーが少ないなど改善を求めめるご意見があり、JRにご意見を共有・申し入れをしたところ、コインロッカーが増設されるなど、迅速な対応がなされた。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	本県のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、引き続き、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図るとともに、観光客の良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応していく必要がある。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	関西・中京圏誘客促進事業費	事業開始年度	H26	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	誘客戦略課
成職	氏名	主事 上坂 ちえ
者電	話番	076 - 225 - 1544 内線 3950

事業の背景・目的
「3大都市圏誘客1,000万人構想」の実現のためには、新幹線開業により全国的に本県への関心が高まる好機を捉え、本県への入り込みの大きな割合を占めている関西・中京圏からの誘客を強化する必要があります。
このため、JR6社による北陸デスティネーションキャンペーン等の実施にあわせ、関西・中京圏において鉄道利用客を対象とした現地プロモーションを実施する。

事業の概要

(1) 北陸DCと連動した関西・中京圏における観光PRの実施
関西・中京圏のJR主要駅において各地域の特性を踏まえた観光PRを実施

① 関西圏観光PR (特性…好奇心が強く、派手好き)
【時期】 9月19日～20日、10月24日～25日
【場所】 JR大阪駅
【内容】 ○観光PRコーナーの設置 ○金箔貼り体験コーナーの設置

② 中京圏観光PR (特性…無駄使いをしない)
【時期】 10月10日～11日、10月31日～11月1日、11月21日～22日
【場所】 JR名古屋駅

(2) 関西・中京圏旅行会社への観光PRキャラバンの実施
北陸新幹線金沢開業一周年に向け、旅行会社に対し観光PRキャラバンを実施(6月、11月)

(3) 関西圏における旅行商品販売促進キャンペーンの実施

① 関西圏のJR主要駅に店舗を持つ(株)日本旅行とタイアップし、本県への旅行商品販売促進キャンペーンを実施
【時期】 9月5日～11月30日
【場所】 関西圏の19店舗
【内容】 ○石川県特設コーナーの設置 ○HPでのキャンペーンの告知
○成約特典(お土産品等)の配布

② JTBとタイアップし、本県への旅行商品販売促進キャンペーンを実施
【時期】 1月25日～2月24日
【場所】 JTB関西主要20店舗
【内容】 ○「雪の章 金沢・和倉・輪島」の販売強化のための店頭装飾
○店舗HPでの広告

施策・課題の状況						
施策	3大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	効果的な情報発信					
指標	3大都市圏からの入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
10,000	6,969	6,832	7,017	6,903	9,259	
事業費						
(単位:千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	予算			3,000	8,000	
	決算			3,000	7,646	
一般	予算			3,000	0	
財源	決算			3,000	0	
事業費累計			0	3,000	11,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	関西・中京圏からの入り込み客数については、現地での観光PRや販売促進キャンペーンを実施するなど関西・中京圏からの誘客を強化した結果、それぞれ前年比約8%、2%の増となった。				
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、北陸新幹線敦賀延伸を見据え、新たに関西・中京圏の大手私鉄グループと連携したキャンペーンを実施するなど、関西・中京圏からの誘客の更なる強化を図る。				

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	白山白川郷ホワイトロード利活用促進事業	事業開始年度	H27	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	新ほっと石川観光プラン		

作組	織	観光企画課			
成職	・氏名	主事 南 智史			
者	電話番号	076 - 225 - 1542	内線	3926	

○事業目的
白山林道が平成27年度より「白山白川郷ホワイトロード」へ愛称変更するとともに、通行料金が半額となることを広く周知し、利用促進を図るとともに、加賀温泉郷など加賀・白山地域を中心とした本県の観光魅力をPRし、県下全域への誘客拡大につなげる。

○平成27年度事業の概要

1 「白山白川郷ホワイトロード」の愛称・料金改定を契機としたマイカー利用者を対象としたプロモーション(7,075千円)

(1) マスコミを通じた新愛称・新料金のPR

- ① 「感動十景」タイアップ記事(6/19発行号)
- ② 「るるぶ石川」(7/13発行)、「るるぶ岐阜」(7/15発行)への広告掲載
- ③ 「中日新聞(愛知、岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井各県発行分)への広告掲載(6/17発行)
- ④ 「毎日新聞」(大阪府内版、京都版、神戸阪神版 朝刊)への広告掲載(6/12発行)
- ⑤ 「るるぶ北陸ベスト」(10/15発行)への広告掲載

(2) 大手旅行予約サイトでの利用促進キャンペーン

- ① 大手旅行予約サイトを活用した情報発信
楽天トラベルでの特集ページ設置、メールマガジン配布(H27. 8. 17～10. 11)
- ② 大手福利厚生代行会社を活用した情報発信
 - ・福利厚生倶楽部会員専用HPへの情報掲載(H27. 7. 1～)
 - ・福利厚生倶楽部会報誌「F.U.N」初秋号(関西版・中京版、8/17発行)

(3) 中京圏における出向宣伝

- ・中日ビル(名古屋市)(H27. 6. 30～7. 1)
- ・アピタ千代田橋店(名古屋市)(H27. 7. 18～19)
- ・アピタ港店(名古屋市)(H27. 8. 29～30)
- ・名古屋まつり(名古屋市)(H27. 10. 17～18)

2 白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(11,492千円)

(1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(9,156千円)

- ① 対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人
- ② 協賛宿泊施設 99施設(あわづ温泉6、片山津温泉12、山代温泉17、山中温泉18、辰口温泉3、白山温泉郷39、金沢温泉郷4)
- ③ 実施期間 平成27年6月14日～11月15日の全日(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)
- ④ 料金体系(片道) 普通車1,600円、軽自動車1,400円、マイクロバス4,900円、大型バス10,800円
- ⑤ 利用件数 6,479件

(2) 広報宣伝の実施(2,336千円)

- ① 協賛宿泊施設、観光関連団体、道の駅、三大都市圏などへの広報チラシの配布(8万枚)
- ② 「自遊人」(7/26発行号)への広告掲載
- ③ Yahoo!Japanへの「Yahoo! Display adNetwork広告」を活用した広告掲載(7月～10月実施)

施策・課題の状況						
施策	三大都市圏誘客1,000万人構想の推進と海外誘客10倍増構想の推進				評価	B
課題	効果的な情報発信					
	指標	三大都市圏からの入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	10,000	6,969	6,832	7,017	6,903	9,259

事業費						
	(単位：千円)	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業費	予算					19,492
	決算					18,567
一般財源	予算					11,492
	決算					11,492
事業費累計						19,492

評価		左記の評価の理由			
項目	評価				
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	愛称変更・料金改定を契機としたプロモーション活動強化の結果、昨年度を大幅に上回る通行台数となったことから、一定の効果があったと言える。			
			H25	H26	H27
		開通期間(一部・全線)	155 日間	164 日間	155 日間
		利用台数	60,380 台	55,714 台	77,530 台
		日平均台数	390 台	340 台	500 台
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	縮小	愛称変更及び通行料金半額化の周知については一定の効果があったことから、プロモーション活動については次年度は実施しない。 なお、加賀・白山地域を中心とした誘客拡大対策である片道無料キャンペーンについては継続。			